

【注意事項】ご入稿前に必ずお読みください。

- 印刷入稿データは、Adobe illustrator 形式とPSD形式のみ受付可能です。
- illustratorのバージョンは Creative Cloud まで対応可。
- データのカラーモードはすべて「CMYK」です。特色やRGBでのデータをご入稿された場合は、**すべてCMYKに変換しての印刷**となりますので、データと仕上がりの色味が大きく異なる場合がございます。
※原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
- マドラーの棒部分は、**形状が固定です(拡大・縮小不可)**。
- 印刷箇所のパーツは指定の棒部分のパスと繋がるようにご製作ください。
- 白ベタは必ず白ベタレイヤーに配置し、「**K100%**」で作成してください。

Illustrator でのデータ制作

- **フォントは必ずアウトライン処理**を行ってください。
- データに画像を使用した場合、必ず「画像の埋め込み」を行ってください。
- 配置される**画像データの解像度は、原寸の画像サイズで最低300dpi (推奨は350dpi)**を推奨しております。
※低解像度の画像を配置されている際、原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
また、画像データが低解像度による仕上りの品質に対しての責任は負いかねますので、ご了承ください。

Photoshop でのデータ制作

- **フォントは必ずラスタライズ**を行ってください。
- **レイヤーは結合せず**、PSDデータのままだと入稿ください。
また、レイヤー名に(入稿時非表示)と記載があるレイヤーを非表示にしてください。
- 入稿ファイルのカラーモードを**RGBに変更しないでください**。
- テンプレートの画像解像度(350dpi)は変更しないでください。

著作権・肖像権の取り扱いについて

「著作権・肖像権の侵害」に該当する内容のものに関しては印刷をお断りさせて頂いております。
弊社にて「著作権・肖像権の侵害」の可能性があると判断した場合、ご注文をキャンセルさせていただきます。

テンプレートデータの各項目について

本体サイズ：最大 50×200mm

データ作成例



カットライン
最大範囲
(50×50mm)

デザイン最大範囲
カットラインから
内側 2mm

← マドラー棒部分
(位置・サイズ固定)
カットラインと必ず繋げてください

仕上がりイメージ

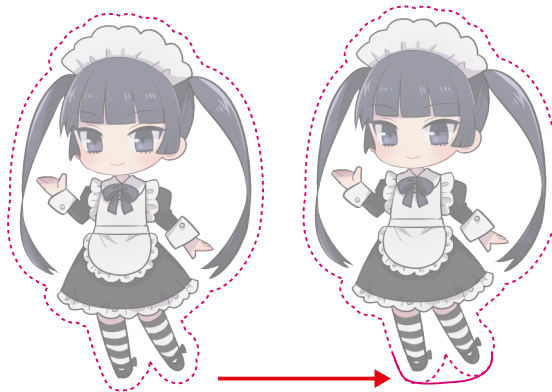


●カットラインパスの制作



ご製作いただいたカットラインパスに、
棒部分のパスの上部分が接するように配置し、
パスを合体します。

※棒のパスは拡大・縮小しないでください。



カットラインの高さや幅が足りない場合は、
上記のように棒部分のパーツに完全に接する
ようにカットパスを調整してください。

接合部分の強度を保てるように
パスを調整してください

カットパス作成上の注意点

- カットパスは必ずカットパスレイヤーに作成してください。
- カットパスは一筆書きの、線が交差しない閉じた図形で作成してください。オープンパスはデータ不備となります。
- 「効果」メニューの「スタイライズ」での角丸は、カットに反映されません。カットパスはフィルタ等を使用せず実線のみで作成してください。(※複雑な切り抜きは不可能な場合があります。ご注文の前にお問い合わせ下さい。)
- パスは、できるだけアンカーポイント数と角の少ないなめらかな線をお願いいたします。

白ベタ作成上の注意点

- 白インクの使用には、白ベタ用のデータを白ベタレイヤーに制作が必要です。
- 白ベタ用のデータは、「K100%」で作成してください。
- ぼかし・グラデーションのような濃度差を表現することはできません。必ず濃度 100% での出力となります。
- 白ベタ用のデータは、マスクを使用して制作しないでください。
- デザイン上、部分的に抜きになされたい場合、黒ベタの上にホワイトのオブジェクトで配置し抜きを表現せず、必ず配置されているオブジェクトが「K100%」のみが配置されているように「抜き」でご制作ください。